



中央区の  
みなさんの  
こみんは!!

埼玉県議会議員

# みやざき ごいち

## 県政レポート

令和2年臨時議会号

### 臨時議会の \ がいちがGO!! /



#### 新型コロナウイルス対策について!!

2020年4月、医療そして県内の地元企業を応援する政策を臨時議会で決定しました。県議会では、現在毎週感染症対策本部を開き、みなさまからのご意見を知事に直接伝えています。

#### 医療・福祉分野を応援

- PCR検査の拡充  
→検査機器・検査場所を増やします。
- 入院先の病院の支援  
→人工呼吸器の整備、看護職員への支援、マスク・消毒液・防護服の配布
- 社会福祉施設への支援  
→感染防止のためのマスク・消毒液を配布します。



#### 県内の会社を応援

- 県内中小企業・個人事業主を支援
- テレワーク緊急導入奨励金  
→埼玉県には独自の県内企業向けの支援金や補助金があります。活用ください。
- 資金繰りに関する相談  
→相談窓口があります。是非お問い合わせください。



#### みんなで応援!!ふるさと納税!!

使いみちは  
①医療支援  
②感染防止の強化  
③県内の会社応援  
から指定できます。

詳しくは県庁 企画財政部財政課まで  
☎お問い合わせ先048-830-2153

最前線で奮闘する医療従事者を応援

埼玉県庁のHPにリンクします



新型コロナ関連の詐欺が多発しております！十分お気をつけください!!

# 議会の現場より ~ごいちの質問~



**Q** 民間の救急クリニックの取り組み(24時間PCR検査など)に対して支援は行いますか?

## 県からの答え

**A** 感染防護服・サージカルマスクなどの支援を行っています。今後、医療機関には入院協力に対する支援を行ってまいります。

# ごいちの **県政** アンケート

感染症対策本部に、**今困っていること、伝えたい事項**を教えてください!!  
県政に関する質問もお待ちしております。

**FAX番号:048-633-9679まで送付ください。**  
(メールの方はgororin51@gmail.com)

携帯からも  
送れます!!



☑ 感染症に関するご意見

☑ 県政に関するご意見

調査



速やかに感染症対策本部に報告します。

今後の活動に活用します。

ご意見

お名前

ご住所

メールアドレス

## お問い合わせ先

公式HP: <https://51go.jp/>  
E-mail: [gororin51@gmail.com](mailto:gororin51@gmail.com)

ちゅうおうくを ころうないくに ごいちくる~  
☎ **090-9679-5196**

公式HP



Twitter



フェイスブック



管理責任者: 中村 博  
県政調査事務所: さいたま市中央区本町西4-19-19-20F  
編集責任者: 柳瀬 富司  
発行者: みやざきごいち県政調査事務所



中央区の  
みなさんの  
こみんには  
は!!

埼玉県議会議員

# みやざき ごいち

## 県政レポート

令和2年6月議会で質問号

### 6月県議会の「ごいちがGO!!」



6月県議会の期間は6月15日から7月3日まで行われます。

今議会において、私は「学校に通う児童生徒の心のケア」・「若年性認知症」・「サポートが必要な方の避難所問題」を質問をいたしました。

#### ごいちからの質問 1

#### 学校に通う児童生徒の心のケアについて

4月・5月、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休校という異例の状況において、児童生徒の心のケアについてどのように取り組めますか。



オンラインツールを利用したスクールカウンセラーによるカウンセリングを提言しました。



#### 県からの答え

A

オンラインツールでの教育相談は有効な手段の1つであることを認識しています。各学校の事例を集め、整理し、周知をしていき、教育相談体制のさらなる充実に努めます。

#### ごいちからの質問 2

#### 若年性認知症の方へのサポートについて

65歳未満で発症する認知症を若年性認知症といいます。一般的な認知症のイメージとはギャップがあり、社会への参加意欲・健康状態に個人差が生じます。働く意欲も能力もある本人へのサポートの充実と社会に広く若年性認知症の理解を広げる取り組みをどのように行っていますか。

#### 県からの答え

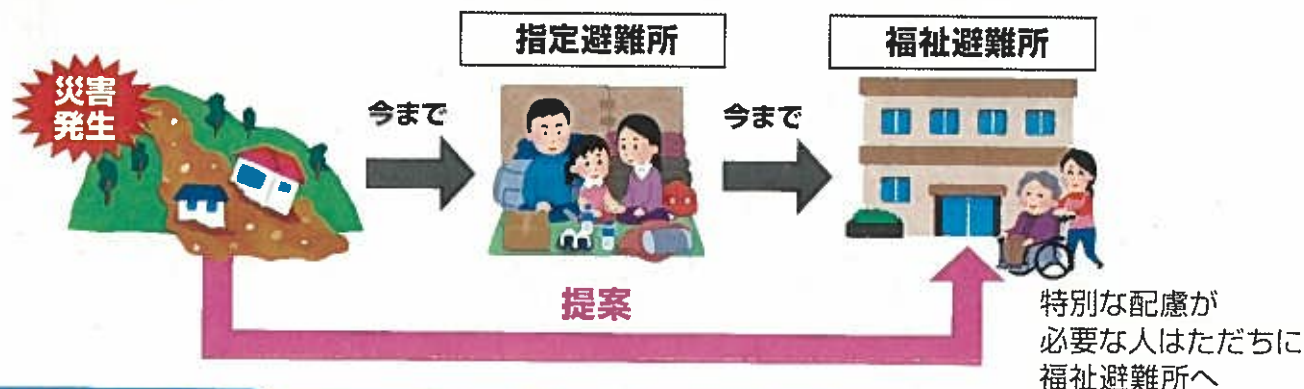
A

県では平成29年度から若年性認知症支援コーディネーターを配置し、きめ細かい就労支援をおこなっています。改めて就労支援制度の周知を徹底するとともに、若年性認知症の特性について正しい理解を促し、必要なサービスが適切に提供されるよう働きかけていきます。

### ごいちからの質問 3

### 高齢者やサポート・配慮が必要な人の避難について

新型コロナウイルス感染症を受けて、災害時の避難所の感染対策が求められています。配慮が必要な人に対する避難について、方針整備を提言しました。また、専用の福祉避難所の数を増やし、「通常の避難所にまず避難」という方針から、「福祉避難所へ直接避難」に方針変更できないか尋ねました。



### 県からの答え

**A** 県内の福祉避難所は799か所で、3年前より150か所増えるなど着実に増加しています。施設入居者との区分けなど特有の課題もあり、従来の福祉避難所の設置・運営に関するマニュアルを改定します。また市町村に対し、平時から特別な配慮が必要な方の把握に努め、重症化リスクを抱えている人たちが直接福祉避難所へ避難することの検討を県がはたらきかけます。

### ごいちの県政アンケート

# 中間報告



ご協力いただき、大変  
ありがとうございました!!



- 県のPCR検査について
- 県の医療体制について
- 10万円給付金について
- 介護施設への感染防止策について
- 教育についての不安



などのご意見を頂きました!  
県に伝えて、確認報告まちです

### お問い合わせ先

公式HP: <https://51go.jp/>  
E-mail: [gororin51@gmail.com](mailto:gororin51@gmail.com)

ちゅうおうくを ころうないくに ごいちくる〜  
☎ 090-9679-5196



管理責任者: 中村 博  
県政調査事務所: さいたま市中央区本町西4-19-19-205  
編集責任者: 柳瀬 雷司  
発行者: みやざきごいち県政調査事務所



中央区  
みなさんの  
こみんは  
!!

埼玉県議会議員

# みやざき ごいち

## 県政レポート

令和2年県政アンケート回答号

### 県政アンケートに「ごいちがGO!!」

新型コロナウイルス対策特別委員会が設置されています。  
今までみなさまからいただいたご要望は、県にお伝えしました。  
現時点について、いただいたアンケートに対しての報告をいたします。



### 県の医療体制について

埼玉県の医療体制・病院数や病院のベッド数について不安を感じています。

#### 県の回答・対応

7月21日現在、県は病院ベッド数600床を確保しています。  
今後、最大病床ベット数を1400床、宿泊療養施設1450室を  
確保できるよう、計画しています。  
県議会は、問題点のチェックとともに、病院誘致を含め、安心して  
お医者さんにかかれるように取り組んでいます。



### PCR検査について

PCR検査が簡単には受けられないことに不安を感じています。

#### 県の回答・対応

さいたま市のPCRセンターは、与野医師会の協力のもと、中央区  
にも設置されました。  
また、新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口「県民サポート  
センター」の電話回線も増設しました。医師会と協力して全県で  
対応しています。県民サポートセンター ☎0570-783-770



### 10万円特別給付金について



10万円給付金についていただいたご要望は、さいたま市にお伝えしました。  
7月中旬の段階で申請後に振り込みが済んでいない方には連絡がされます。

# ごいちが 視察してきました!!

24時間PCR検査を行っている「ふじみ野救急クリニック」に伺いました。

同クリニックの取り組みや課題は以下の通りです。

- ✓ 団体のPCR検査を対応するようになりました。
- ✓ PCR検査のご希望がある人は、自費でも受けられるように積極対応しています。
- ✓ こちらのクリニックでは1日350件超のPCR検査を担えます。この実績を考慮し、現在の体制を今後も維持できるように、制度面での難しい点の解消が課題です。



＼コロナと共にある時代を乗り切る体制・仕組みをこれからも考えてまいります! /

さいたま医療の今後について

## 評価委員会に参加しました

来年4月1日より県立病院の経営形態が変わります

医療と経営の専門家による県立病院評価委員会が開かれ、参加いたしました。



### 県・病院より

- 現在の労働環境の維持・継続。不採算でも県民に必要な医療の提供を行う。
- 新制度に移行することで病院経営を改善する。
- 新型コロナウイルス感染症対応と経営に対する厳しい影響の報告。

### 専門委員より

- 透明化のため、現状の経営数値を出してほしい。
- 新制度のスタッフ確保で他の医療機関に影響がでないように検討すべき。
- 県立精神医療センターの建て替えについては費用の面から要検討。

9月県議会では、県民の皆さんが安心して医療にかかれる環境を残すにはどうすればよいかを考えて、新体制の目標について決定します。

新型コロナウイルス感染症に関すること、今困っていること、伝えたい事項を引き続き募集しています! 県政に関する質問もお待ちしております。

携帯から送れます!!



## お問い合わせ先

公式HP: <https://51go.jp/>  
E-mail: [gororin51@gmail.com](mailto:gororin51@gmail.com)

ちゅうおうくを くろうないくに さいちくる〜  
☎090-9679-5196



管理責任者: 中村 博  
県政調査事務所: さいたま市中央区本町西4-19-19-205  
編集責任者: 柳瀬 富司  
発行者: みやざきごいち県政調査事務所



みなさんの  
中央区の  
ご支援を  
お願いします!!

埼玉県議会議員

# みやざき ごいち

## 県政レポート

令和2年県政レポート8月号

みんなのチカラでこども・地域を守ろう!!  
住みよい中央区・防犯に取り組みませんか。



### 防犯サポーター募集!

ウエストポーチを身につけて、ウォーキングや運動しながら防犯活動をしていただく県の取り組みです。

埼玉県 防犯サポーターになろう

検索

- ※県のホームページから申請できます。
- ※ウエストポーチの発送をもって登録となります。

#### 申込要件

- 18歳以上の埼玉県民
- インターネットで申し込み・活動報告が可能な方

自分の好きな時間に、  
気軽にできる  
防犯活動です!!



ウエストポーチの数に限りがございます。申請はお早めに!  
パトロールは無理をせず、健康にご留意ください。

### 防犯環境整備事業費 今年度250万円UP!!



私が去年の議会にて質問したことで、増額となりました。  
重点犯罪(自転車窃盗、特殊詐欺、女性や子供を狙った犯罪)対策にこの費用が使われます。  
安全安心な埼玉県を目指します!



あなたの悩み  LINE で相談しませんか?!

# つながるいのちのほっとライン@埼玉

学校・人間関係・こころのお悩みご相談ください。

匿名で相談できます  
安心して  
ご利用ください

埼玉県専任の  
SNSカウンセラーが  
相談をお受けします

ささいなことでも  
構いません  
お気軽にどうぞ!

利用方法

QRコードからLINE登録 →  
もしくは ID:@inochisaitamaで検索



相談期間  
相談時間

2020年8月30日(日)まで  
月曜日～木曜日:18時から22時まで  
金曜日～日曜日:18時から 0時まで

## 中央区から「ごいちとGO!」

県政に対するご意見をいただきました。

ご意見頂いた方

免許返納後の移動支援について  
埼玉大学名誉教授 宇佐美 洋一さん(大戸在住)



高齢化に伴い、運転免許を返納する方が増えています。  
「ちょっとそこまで」の近距離移動をいかに支援すればよいか?  
バスの利用を支援する施策、一般のタクシーチケットの配布に  
加えて、私は、県発行の無料タクシークーポン(初回申請後は簡易更新、  
高齢者限定、上限額設定、県内の全タクシー会社・個人タクシーに  
通用)の配布を提案します。

新型コロナウイルス感染症に関すること、今困っていること、伝えたい事項を  
引き続き募集しています!県政に関する質問もお待ちしております。

携帯から  
送れます!!



お問い合わせ先

公式HP: <https://51go.jp/>  
E-mail: [gororin51@gmail.com](mailto:gororin51@gmail.com)

ちゅうおうくを くるうないくに さいちくる～  
☎090-9679-5196



管理責任者: 中村 博  
県政調査事務所: さいたま市中央区本町西4-19-19-205  
編集責任者: 柳瀬 富司  
発行者: みやざきごいち県政調査事務所





中央区の  
みなさんの  
こみんは!!

埼玉県議会議員

# みやざき ごいち

## 県政レポート

令和2年10月号

県議会は10月14日まで開かれています。  
今回はいただいた県政アンケートの回答をお伝えします。



「インクルーシブ公園」についてご存知でしょうか。  
身近に広まってほしいです。

### ごいちからの回答

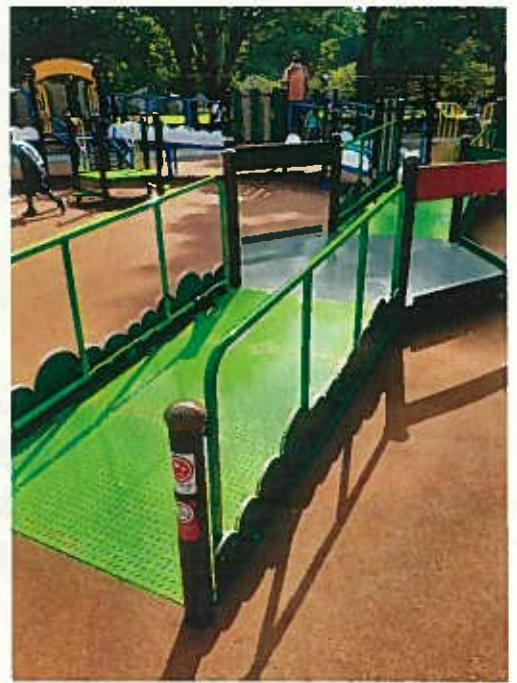
実はこれまで全く知りませんでした。今回、調査・視察を行い、その結果が10月の県議会に取り上げられました。  
(下写真はすべて世田谷区きぬた公園)



足元にも配慮した階段



スロープ付き



安心安全ゴムチップ舗装

インクルーシブ公園とは「障害のあるなしに関わらず、みんな一緒に安全に遊べる公園」のこと。  
東京都は、インクルーシブ公園を今年3月世田谷区に、また9月に豊島区にオープンさせました。  
財政面で課題がありますが、国の方針として示されていない遊具のバリアフリー化を埼玉県も対応するよう、取り組んで参ります。



ハザードマップの改訂はいつされますか？  
細やかな対策地図を求めます！（自治会長さんより）

### 県およびさいたま市からの答え

来年3月までには、1000年に一度の記録的雨量を基準とした河川ハザードマップに更新します。  
下水も含めた浸水(内水)防災マップは再来年3月の更新予定です。ゲリラ豪雨は、想定外のところで発生しております。  
ご自宅の防災にも日ごろからご注意をお願い申し上げます。



# ごいちのどこどこ日誌

実際に私が出会った中央区のみなさまから頂いた県政に関するご要望です

## 中里地区にお住まいの方より



国道17号・中里の交差点で、赤信号で止まらない自転車と歩行者が接触事故になりました。歩行者が自転車から見えない状況になっていて危険です。



### ごいちからのご報告

看板を設置しました。国道事務所との連携に際しては、まきはらひでき衆議院議員にお世話になりました。

## 小児在宅医療の現場より

在宅で使用するこども用人工呼吸器には、給水に保護者が冷ましたお湯をやかんで注ぐタイプがあり、水がこぼれると漏電の恐れがあります。安全な自動給水対応可能なものに変更をお願いしたいです。



### ごいちからのご報告

県立小児医療センターでは、人工呼吸器の自動給水対応ができるようになりました。また、自動給水に必要な精製水パックの配布希望も確認しています。県議会は、医療ケアが必要なお子さんの課題に取り組んでいます！



**今後とも、オレンジマークのごいちを見かけたらお声がけください！**  
**地域の問題・生活相談・行政のご意見や要望、県政に関する質問、お気軽にどうぞ！**

携帯からも送れます!!



## お問い合わせ先

公式HP: <https://51go.jp/>  
E-mail: [gororin51@gmail.com](mailto:gororin51@gmail.com)

ちゅうおうくを くろうなくくに ごいちくる〜  
☎090-9679-5196

公式HP



Twitter



フェイスブック



管理責任者: 中村 博  
県政調査事務所: さいたま市中央区本町西4-19-19-205  
編集責任者: 柳瀬 富司  
発行者: みやざきごいち県政調査事務所

埼玉県議会議員

# みやざきごいち



埼玉県から中央区を住みやすく号

県政レポート



## ごいちがGo!

活動の一部を  
ご報告します!

中央区のみなさまからご要望をいただいております。  
解決できたものを報告させていただきます。  
身近なこと、ささやかなことでかまいません。ご意見をお寄せください。

### 川に生えている木の伐採

川沿いの住民の方から



『台風・ゲリラ豪雨の大雨により水が大量に流れると木が  
コンクリートの川の壁を破壊するかもしれない。伐採をお願いします。』



解決しました。



川のコンクリートから切り株が  
出ています。自然の強さを感じます。



地域防災は、住んでいる皆さんの日ごろのチェックが重要です。ぜひ教えてください。

### 一人住まいの高齢者の見守りサービス

下落合の不動産屋さんから



一人住まいのお年寄りが増えています。  
孤独死を防ぐ見守りサービスを考えてください。



県議会で県に伝えました。点灯したか分かるセンサー内蔵の電球を  
使い県営住宅で試験を行いました。  
その後すべての県営住宅に導入をめざしています。

高齢化の課題を一緒に取り組んでいくため、ご意見を教えてください。



### 側溝清掃

八王子



### 歩道の街灯新設

本町



### 信号時間の調整

鈴谷・本町



### 自転車駐輪場の整備

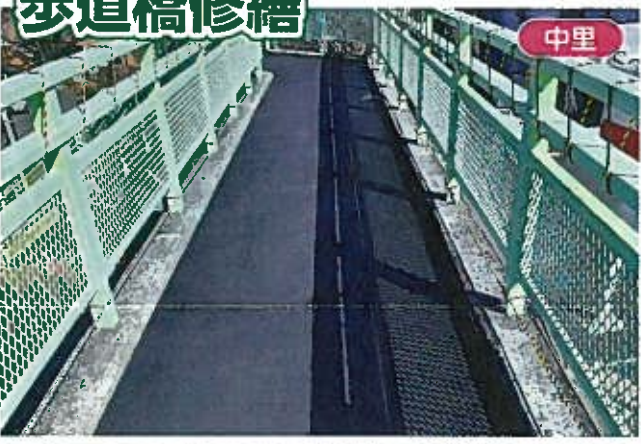
新都心



みなさまのご意見でできました。市議会議員の皆様にご協力をいただきました。

### 歩道橋修繕

中里



### バイパス周辺歩道の草刈り

作業後

作業前



まきはらひでき衆議院議員にご協力をいただきました。

## みやざきごいちプロフィール 37歳

オレンジ色が目印のごいちを見かけたら、お声がけください!  
地域の問題・生活相談・行政のご意見や要望等、お気軽にどうぞ!

2015年 ▶ 牧原ひでき秘書

2019年 ▶ 埼玉県議会議員(中央区)  
"地域に根付いた活動"を  
モットーとしております!

誕生日: 1982年9月21日生まれ

星座: 乙女座 血液型: A型

趣味: 盆踊り



ちゅうおうくを くろうないくに ごいちくる~  
**090-9679-5196**

<https://51go.jp/>  
[gororin51@gmail.com](mailto:gororin51@gmail.com)



中央区の  
みなさんの  
こみんは!!

埼玉県議会議員

# みやざき ごいち

## 県政レポート

令和2年11月号

### 今月の \ ごいちがGO! /

県議会決算委員会が、10月20日から12月まで行われています。県の予算の使い方・成果をチェックしています。



**決算  
委員会で  
提言!!**

予算・決算書の数値チェック・現場視察に加えて、検討・改善テーマを提言し、今後の県政の方向性を議会から示します。政策と効果の関係を評価して、経費を節約するように提言します。

**提言1**

**発達障がい児の診療療育  
支援センターの待機期間の改善を**

初診までに3.8ヶ月待ちの報告を受け、県の診療療育支援センターの待機期間短縮に向けての改善を要望しました。



**提言2**

**外部監査を活発に**

県民目線の行政を実現するため、公認会計士など外部専門家によるチェック体制の充実を提言しました。



**提言3**

**安全な食や農家を守る!**

畜産が盛んな他県の情報を迅速にキャッチすることで家畜伝染病の防止策の強化を提言しました。



県北部では野生の  
アラシグマや  
イノシシの被害も

いただいた地域のご要望・県政へのご意見、  
順次取り組んでおります。ご意見ありがとうございます。



# ごいちのどこどこ視察

## 発達障害総合支援センター@ 中央区新都心を視察!

県内の支援者育成を目的として、地域診療所の医療従事者・保育士・幼稚園教諭・小学校教員を対象とした研修を行っています。

オンライン研修の取り組みも全国に先駆けて進めています。

県機関による発達障害の診断とその後の療育支援について初診待機期間(3.8か月)を改善するため「医療との連携」や「保護者の不安感への配慮」について意見交換をしました。

(写真下段→)ボールプールでは子どもたちは抱きしめられたような感じになり、落ち着きます。



## ごいちの 県政アンケート



県が運用するWEBを利用したサービスやシステムが有効に活用されているかのチェックをお願いします。



ごいちからの  
ご報告

システムやWEBによるサービスは、検証しやすいデータや履歴が残ります。効果の検証を実施し、ノウハウが県庁に残るよう県に要望します。

今後とも、オレンジマークのごいちを見かけたら  
お声がけください!引き続き県政アンケート行っております!

携帯からも  
送れます!!



お問い合わせ先

公式HP: <https://51go.jp/>  
E-mail: [gororin51@gmail.com](mailto:gororin51@gmail.com)

ちゅうおうくを ころうないくに ごいちくる~  
☎090-9679-5196



管理責任者: 中村 博  
県政調査事務所: さいたま市中央区本町西4-19-19-205  
編集責任者: 柳瀬 富司  
発行者: みやざきごいち県政調査事務所



中央区の  
みなさんの  
こみんは!!

埼玉県議会議員

# みやざき ごいち

## 県政レポート

令和2年12月号

### 今月の \ ごいちがGO! /

12月県議会は、11月30日から12月18日まで行われます。



### 熱がでたら、どうすればよいの？

コロナ禍の中、いきなり行ってもいいのかしら？

### 病院を探す



「埼玉県指定診療・検査医療機関検索システム」で  
県内・中央区の医療施設が探せます。

※受診を決めたらまず事前にお電話を。  
※与野医師会および医療従事者の皆様に  
感謝申し上げます。



### 問い合わせ先 (ホームページが見られない方)

埼玉県受診・相談センター

TEL: 048-762-8026  
午前9時～午後5時30分  
日曜定休日

県民サポートセンター

TEL: 0570-783-770  
24時間受付  
土日・祝日も実施



今議会の  
主な動き

- 盗撮行為の罰則強化  
迷惑行為防止条例を改正へ
- 来春4月1日の県立病院の  
経営形態変更について議論



いただいた地域のご要望・県政へのご意見、  
順次取り組んでおります。ご意見ありがとうございます。

# 埼玉県の 条例 を 全国へ



埼玉県議会は、病気や高齢のご家族を介護する人（ケアラー）を支援する全国初の条例を作り、現状把握と具体的な支援メニュー作りを始めています。  
埼玉県の動きを全国展開するため、国会に支援法作りをお願いしました。



## ごいちのどこどこ日誌

### 鈴谷地区におすまいの方より



川沿いの桜の木が折れてしまいました。どこに連絡すればよいか  
わからなかったのととりあえず連絡してみました。

#### ごいちからのご報告

桜の木の撤去と護岸の草刈りをセットで行いました。  
すっきりです!! ご連絡ありがとうございました!



### 自動運転バスの実証実験に参加

免許返納後の移動手段について要望を多くいただいています。  
現状確認と問題点(交通規制・技術レベル)を現場で体感  
しました。



今後とも、オレンジマークのごいちを見かけたら  
お声がけください!引き続き県政アンケート行っております!

携帯からも  
送れます!!



### お問い合わせ先

公式HP: <https://51go.jp/>  
E-mail: [gororin51@gmail.com](mailto:gororin51@gmail.com)

ちゅうおうくを ころうないくに ごいちくる〜

☎090-9679-5196

公式HP



Twitter



フェイスブック



管理責任者: 中村 博  
県政調査事務所: さいたま市中央区本町西4-19-19-205  
編集責任者: 柳瀬 富司  
発行者: みやざきごいち県政調査事務所

【埼玉県議会自民党議員団 発行】





中央区の  
みなさんの  
こみんちんは!!

埼玉県議会議員

# みやざき ごいち

## 県政レポート

令和3年1月号

### 令和3年！ 新年の抱負

新しい年を迎え、気持ちを新たに活動してまいります。  
時代にあったスピード感で埼玉県に現場の声を届け、  
ご要望を実現してまいります！



## 今年のごいちがGO!!



### 新型コロナウイルス感染症対策用の 仮設病棟を視察しました。

予算の使われ方、看護師さんの不足や消毒、治療薬の承認について、現場の声を伺い、意見交換を行いました。

消毒について業界団体と話し合いを行い、後方支援を行っていきます。



遠隔対応可能なデジタル機器 ▶



▲80床の仮設病棟

ドライブスルー方式のPCR検査にも対応

県は、3月末までに新型コロナウイルス感染症専用仮設ベッドを176床増設いたします。

詳しい視察報告書について、こちらでご確認いただけます。

※ホームページを見られない方には郵送します

携帯で  
チェック!!



いただいた地域のご要望・県政へのご意見、  
順次取り組んでおります。ご意見ありがとうございます。



# ごいちのどこどこ日誌

## 仲町の自治会長さんより



地域防災に必要な  
防災倉庫の設置場所が  
見つからず、困っています。  
県立与野高校に設置  
できませんか。



▲ 校長と打合せ風景

### ごいちからのご報告

県立与野高校へ  
自治会長と一緒に  
訪問しました。同校校長と打ち合わせを  
し、校内に防災倉庫が設置されることになり  
ました。  
埼玉県議会は地域防災に県有施設を使う  
ことを推進しています。



▲ 防災倉庫の設置予定地

## 中央区のアートの 底上げを応援!!



さいたま芸術劇場を舞台に  
中央区美術家協会さん所属アーティストの  
作品が展示される「中美展」が開催されます。  
(開催期間:1/9~31、休館日は1/18、25)  
これからも中央区のアーティストのみなさんを  
応援してまいります。



今後とも、オレンジマークのごいちを見かけたら  
お声がけください!引き続き県政アンケート行っております!

携帯からも  
送れます!!



## お問い合わせ先

公式HP: <https://51go.jp/>  
E-mail: [gororin51@gmail.com](mailto:gororin51@gmail.com)

ちゅうおうくを ころうないくに ごいちくる~  
☎090-9679-5196



管理責任者: 中村 博  
県政調査事務所: さいたま市中央区本町西4-19-19-205  
編集責任者: 柳瀬 富司  
発行者: みやざきごいち県政調査事務所

[埼玉県議会自民党議員団 発行]



中央区の  
みなさんの  
こみんは!!

埼玉県議会議員

# みやざき ごいち

## 県政レポート

令和3年3月号

### 今月の \ ごいちがGO! /



県議会が、2月19日から3月26日まで開かれます。  
令和3年度の県の予算を議論しています。

### 新型コロナウイルスについてお問い合わせ先



▲ ワクチン保管用冷凍庫

厚生労働省新型コロナ  
ワクチンコールセンター

☎ 0120-761-770  
(フリーダイヤル)

受付時間 9:00~21:00  
土日祝日も受付

さいたま市コロナワクチン  
コールセンター

☎ 0570-028-027  
(通話料がかかります)

受付時間 9:00~17:00  
土日祝日も受付

ワクチン接種後の副反応等についての専門相談窓口

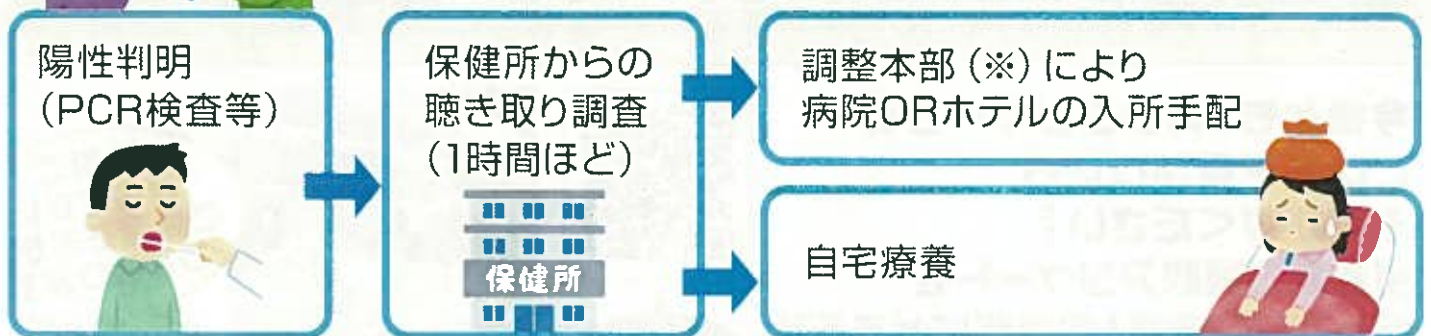
☎ 0570-033-226 (通話料がかかります)

受付時間 土日祝含む24時間対応



新型コロナウイルス感染症への対応について

### もし、コロナにかかったらどうなるの？



(\*) 新型コロナウイルス感染症埼玉県調整本部が、入院先を手配します。

### 県政アンケートでいただいた地域の声

■ 老人福祉施設および障がい者施設へのPCR検査について→今年度行います!

いただいた地域のご要望・県政へのご意見、  
順次取り組んでおります。ご意見ありがとうございます。!



# どいちの 県政アンケート



子どもが巻き込まれる交通事故が起こっています。通学路の安全確保に行政が積極的に取り組むべきではないでしょうか？

## どいちからのご報告

通学路の交差点を中心に安全整備が行われています。上落合南交差点にポールとガード柵を設置しました。国道の整備には国会議員のまきはらひできさんにご協力いただきました。

### カーブミラーも新設しました！



(本町)

死角解消の一助に



右からの車が見えるようになります(写真は工事中)



子どもたちをガード！

これからも公約である通学路の安全確保を進めてまいります!!



今後とも、オレンジマークのどいちを見かけたらお声がけください！引き続き県政アンケートを行っております！お気軽にどうぞ!!



携帯からも送れます!!



自粛でみなさまにご迷惑をおかけしております

◀さいたま新都心駅で外出自粛の呼びかけ

## お問い合わせ先

公式HP: <https://51go.jp/>  
E-mail: [gororin51@gmail.com](mailto:gororin51@gmail.com)

ちゅうおうくを くろうないくに さいちくる〜  
☎090-9679-5196



管理責任者: 中村 博  
県政調査事務所: さいたま市中央区本町西4-19-19-205  
編集責任者: 柳瀬 富司  
発行者: みやざきどいち県政調査事務所

[埼玉県議会自民党議員団 発行]



# 蒼天

## 臨時議会 報告

# 新型コロナウイルス 感染症対策に 511億円

県議会は4月30日、臨時会が行われ、国の緊急経済対策に対応し、新型コロナウイルス感染拡大防止や医療提供体制整備費などを盛り込んだ一般会計補正予算案(511億781万円)など、4議案が提案されすべて可決されました。補正後の令和2年度一般会計予算総額は2兆125億4,245万3千円となります。

なお、県は、緊急事態宣言の期間中(4月8日から5月6日まで)に20日以上休業した中小企業や個人事業主には、中小企業・個人事業主支援金事業として最大30万円を支給するとし、休業については証明も含め弾力的に取り扱う旨の方針を示していました。しかしながら、当該弾力的取扱いに関して、支給対象となる中小企業・個人事業主に対しては趣旨が十分に伝わっていないことが判明しました。

この制度は、新型コロナウイルス感染症により、経営上の影響を受けている県内中小企業・個人事業主が迅速かつ確実に利用できることが求められています。

よって、自民党県議団は、当日の産業労働企業委員会で支給対象の弾力的運用に関する周知徹底および速やかな支援金の支給を求める決議案を提出しました。本決議案は本会議において全会一致で可決されました。



本会議の様子。密集を避け臨時的に議席の間隔を空けています。

埼玉県議会議員

## 本木しげる

総務県民生活委員

自然再生・循環社会対策特別委員



### 臨時会補正予算案の主な内容

#### 感染拡大防止策と医療提供体制の整備

- 介護施設等における感染拡大防止対策の実施
  - ・ マスク・消毒液等の配布 …… 12億7,396万5千円
  - ・ 簡易陰圧装置・換気設備の設置への助成 …… 8億7,280万円

#### ● 検査体制の強化と感染の早期発見

- ・ 県衛生研究所におけるPCR検査機器の増設や民間検査機関の活用による検査体制等の充実 …… 9億1,974万7千円
- ・ 郡市医師会との連携による発熱外来PCRセンターの設置、運営 …… 4億1,400万円

#### ● 医療提供体制の強化

- ・ 医療機関への感染防護具等の配布 …… 16億5,856万5千円
- ・ 入院医療機関に対する簡易陰圧装置・人工呼吸器等の設備拡充への助成等 …… 3億9,256万4千円
- ・ 入院患者受入れに対する協力金の支給や看護職員手当等への助成 …… 40億4,619万8千円
- ・ オンラインでの診療や服薬指導に向けた導入支援 …… 1億4,498万4千円
- ・ 軽症者等を受け入れる宿泊療養施設の確保 …… 60億3,553万6千円

#### ● 情報発信の充実

- ・ 感染拡大防止のための広報や知事記者会見における手話通訳の導入 …… 1億5,775万7千円

#### ● 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備

- ・ 放課後児童クラブ、放課後等デイサービス等の運営支援 …… 8億6,792万円

#### 雇用の維持と事業の継続

##### ● 中小企業に対する資金繰り支援

- ・ 新型コロナウイルス感染症対応資金の創設等(制度融資枠:3,600億円→8,000億円)
  - うち、令和2年度支出分 …… 52億7,000万円
  - うち、令和3年度以降支出分(債務負担行為の設定) …… 限度額:188億9,383万5千円

##### ● 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援

- ・ 休業した中小企業・個人事業主への支援金等の支給 …… 121億円
- ・ コールセンターの設置など中小企業からの相談等に対応する体制の充実 …… 6,382万円
- ・ テレワークの緊急導入に向けた中小企業への支援 …… 6,072万9千円

##### ● 生活に困っている人々への支援

- ・ 生活福祉資金の特例貸付に対する助成 …… 25億4,477万2千円

# 令和2年度当初予算 狭山市内の県土整備事業箇所

令和2年度の狭山市内における県土整備事業（予算1,000万円以上）をお知らせいたします。中には、長年に亘り地域の課題となっていた事業も含まれています。

今後、事業に必要な用地の提供を頂いたり、工事車両の出入りのために土地を貸与頂くことになる地権者の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。



① 中新田入間川線(東三ツ木)



② 堀兼根岸線(広瀬台)



③ 鯨井狭山線(柏原)



④ 所沢堀兼狭山線(沢)



⑤ 川越入間線(北入曽)



⑥ 所沢狭山線(中之坂歩道橋付近)



⑦ 所沢狭山線(入曽駅入口交差点付近)



⑧ 川越入間線(入曽交差点付近)



⑨ 笠幡狭山線(宮沢橋付近)



⑩ 不老川(草刈橋下流)



⑪ 不老川(新入曽橋下流)



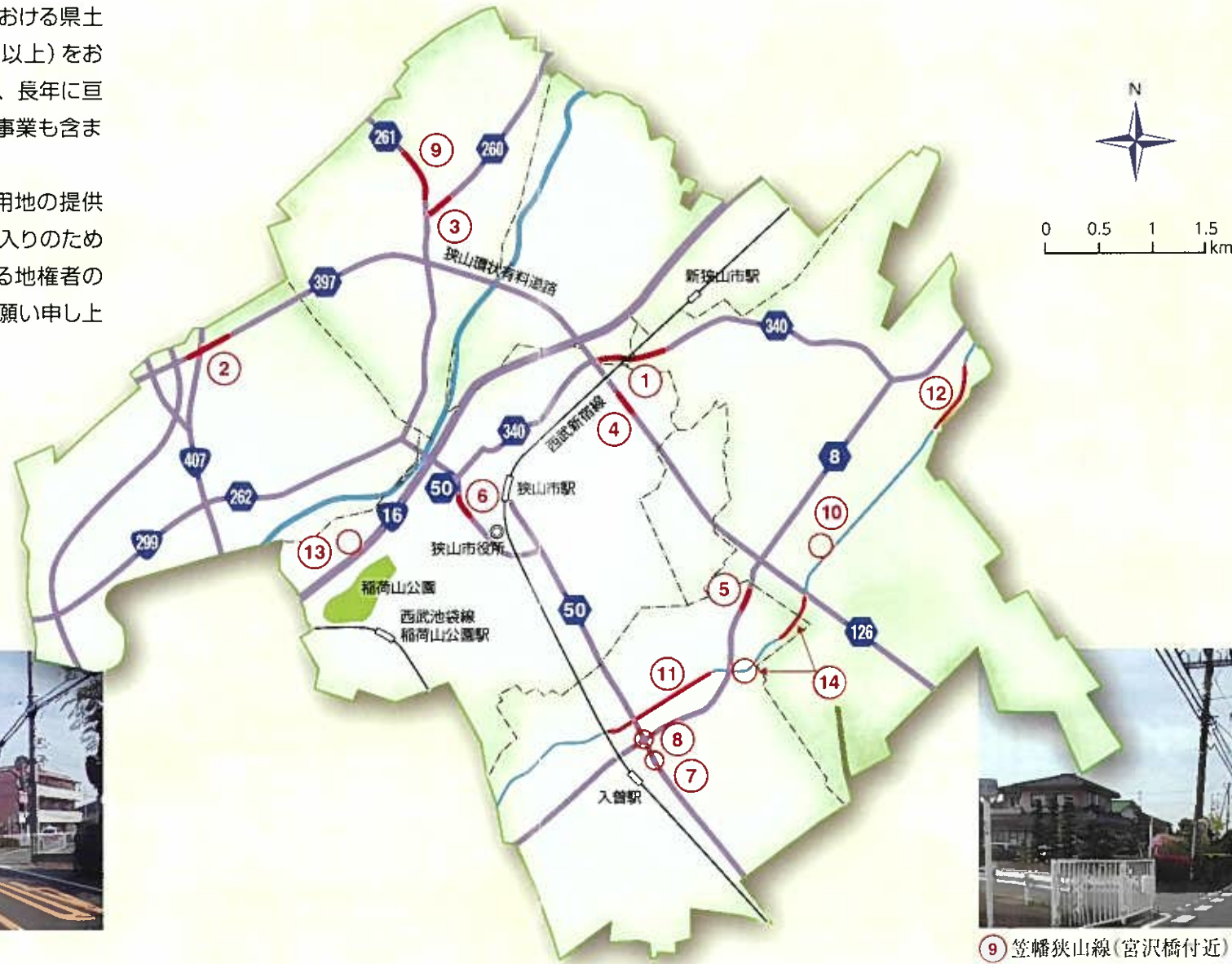
⑫ 不老川(石橋上流)



⑬ 鷺ノ木(鷺ノ木児童遊園地南側)



⑭ 不老川(山王橋下流)



事業名	路線名等	事業の概要
① 社会資本整備総合交付金(改策)事業費	中新田入間川線	L=900m, W=6.0(9.0)m
② 舗装道整備費	堀兼根岸線	切削オーバーレイ W=8m, L=500m
③ 舗装道整備費	鯨井狭山線	切削オーバーレイ W=6.4m, L=400m
④ 舗装道整備費	所沢堀兼狭山線	切削オーバーレイ W=14.5m, L=300m
⑤ 舗装道整備費	川越入間線	切削オーバーレイ W=6.5m, L=300m
⑥ 舗装道整備費	所沢狭山線	切削オーバーレイ W=9m, L=300m
⑦ 自転車歩行者道整備費	所沢狭山線	歩道整備

事業名	路線名等	事業の概要
⑧ 交差点整備費	川越入間線	交差点改良
⑨ 自転車歩行者道整備費	笠幡狭山線	歩道整備
⑩ 河川改修費	不老川	掘削工、測量設計
⑪ 床上浸水対策事業費	不老川	河道掘削工、橋梁架換工、用地補償
⑫ 社会資本整備総合交付金(河川)事業費	不老川	護岸工、掘削工、用地補償
⑬ 急傾斜地崩壊対策費	鷺ノ木	擁壁工、測量設計
⑭ 床上浸水対策事業費(令和元年度2月補正で対応)	不老川	河道掘削工

# 不老川改修事業の進捗状況

不老川では、平成28年8月の台風9号に伴う浸水被害を軽減させるため、県道所沢堀兼狭山線の新権現橋から西武新宿線までの延長2.4kmの河川の拡幅、橋の架換え工事が平成29年度から進められています。あわせて下流側の川越市境付近の河川の拡幅も同時に進められています。地権者を始め、ご協力を頂いております皆様に感謝を申し上げます。



東山王橋上流(としとらず公園)



東山王橋下流



石橋上流

# 台風19号による災害復旧の状況

昨年10月の台風19号では、総雨量が350mmを超える記録的な大雨となり、市内を流れる入間川においても護岸など多くの施設に被害がありました。

一部の箇所では復旧工事に着手しております。その他の箇所も順次着手してまいります。また、流れ着いた流木やごみの撤去工事も実施してまいります。



笹井堰



本富士見橋下流

本木しげるオフィシャルホームページ

<https://www.motoki-saitama-kengikai.jp>





県議会6月定例会報告

## 新型コロナウイルス感染“第2波”に備え体制強化へ

一般会計  
補正予算

【第5号】

約107億4,118万円

【第6号】

約1,484億4,435万円

## 過去最大規模の補正予算を議決!!

県議会6月定例会は6月15日から7月3日にかけて開催し、新型コロナウイルス感染症拡大防止策と第2波への備えを盛り込んだ一般会計補正予算【第5号】107億4,118万1千円及び【第6号】1,484億4,435万9千円の計上等を議決しました。

その内訳は、【第5号】補正予算は、民間によるPCR検査体制のさらなる充実と30分で結果が分かる抗原検査の導入等に30億3,901万3,000円、中小企業に対する支援として「新型コロナウイルス感染症対応資金<sup>※1</sup>」及び「経営安定資金<sup>※2</sup>」融資枠を拡大するために56億2,690万円、さらに、子供たちの学びの機会を確保するため、県立学校のICT環境の早期整備のために9億3,192万9,000円が計上されています。

【第6号】補正予算は、6月12日に成立した国の第2次補正予算に対応したもので、新型コロナウイルスの入院患者を受け入れる医療機関の空き病床に対し1日上限30万1千円を助成する事業が盛り込まれています。その他、クラスター化防止のため感染症専門医などによる4人1組の「COVMAT（コロナ対策チーム）」を設置する事業に約1億1,509万円、県内の中小企業や個人事業主を対象とした家賃支援に約120億2,354万円が計上されています。

### 埼玉県議会議員 本木しげる

総務県民生活委員  
自然再生・循環社会対策特別委員  
新型コロナウイルス対策特別委員会副委員長



### 感染拡大防止と第2波への備え

#### (1) 検査体制の強化

民間検査機関におけるPCR検査の拡充や抗原検査の導入

14億5,527万6千円

- ① 相談・受診の目安の改訂や発熱外来PCRセンターの本格稼働による検査件数の増加に対応
- ② 抗原検査の保険適用承認に伴う新たな公費負担  
→30分で結果のわかる抗原検査を行うことで患者や医療機関の負担を軽減



#### (2) 重症患者治療体制の強化

Tele-ICUによる重症患者医療体制整備

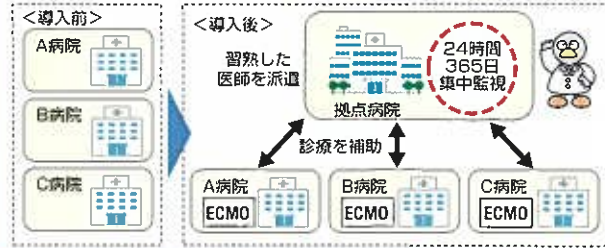
7,900万円

Tele-ICU体制を構築し、拠点病院が連携病院の人材育成やECMO治療等の集中治療を支援する

導入効果

超重症病床 12床 → 17床

- ① ICUの医師の負担軽減・人材育成、医療の標準化
- ② ECMO治療体制の強化・充実



※1 埼玉県新型コロナウイルス感染症対応資金については、埼玉県庁産業労働部金融課 企画・制度融資担当 ☎048-830-3801へご相談ください。  
※2 経営安定資金はしめ、経営あんしん資金、緊急借換資金については、地元の商工会議所・商工会、またはお取引のある金融機関へご相談ください。

引き続き、中面をご覧ください。





## 県議会6月定例会 補正予算【第5号】【第6号】から 主な事業をご報告します



事業名等	金額(千円)	事業概要
中小企業・個人事業主等に対する家賃への支援 (産業労働部)	12,023,547 【第6号】補正予算	厳しい経営状況に置かれている県内中小企業や個人事業主に家賃支援金を支給(賃借人・賃貸人に支援)
中小企業に対する資金繰り支援 (産業労働部)	5,626,900 【第5号】補正予算	県制度融資枠(新型コロナウイルス感染症対応資金と経営安定資金)を拡大
緊急小口資金等の特例貸付の実施 (福祉部)	13,667,941 【第6号】補正予算	緊急小口資金等の特例貸付を継続するための貸付原資を補助
介護・障害福祉サービス等に対する感染症対策・再開支援 (福祉部)	29,715,945 【第6号】補正予算	介護・障害福祉サービス等を提供する事業者の感染症対策やサービス再開に向けた経費を補助。またサービス継続に従事した職員に慰労金を支給
児童福祉施設等における感染拡大防止対策支援 (福祉部)	2,941,564 【第6号】補正予算	感染拡大防止のための備品・衛生用品等の購入経費及び感染症対策等に関する派遣始動・相談窓口設置等にかかる経費を補助
県民相談体制の強化 (保健医療部)	1,166,666 【第6号】補正予算	県民サポートセンターの継続、帰国者・接触者相談センター業務の郡市医師会への委託継続等
検査体制の強化 (保健医療部)	1,455,276 【第5号】補正予算	抗原検査の保険適用就任に伴う公費負担、PCR検査の民間委託及び民間検査機関のPCR検査機器整備への助成、発熱外来PCRセンターの検査体制の充実、医療機関等への感染防護具等の追加配布、入院医療機関への病床確保等への支援、医療機関・薬局等の感染防止対策、医療従事者等への慰労金の支給等
	80,839,406 【第6号】補正予算	
妊産婦への総合的な支援 (保健医療部)	830,982 【第6号】補正予算	妊産婦への寄り添い型支援、分娩前PCR検査費用の助成、PCR検査を実施する産科医療機関の設備整備への補助等
市町村事業への助成 (保健医療部)	1,045,000 【第5号】補正予算	国からの「新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金」を活用し市町村へ助成【第5号】及び、負担率が国10/10に拡大されたことに伴う増額【第6号】
	1,045,000 【第6号】補正予算	
学校教育総合支援事業 (教育局)	101,472 【第5号】補正予算	臨時休業にともなう学習の遅れを解消するため、学習指導員を配置する市町村へ補助を実施
	1,971,200 【第6号】補正予算	



「新型コロナウイルスにともなう、あなたが使える緊急支援」自民党のホームページをご参照ください。  
<https://www.jimin.jp/covid19/>

## 新型コロナ対策特別委員会を設置 副委員長に就任しました

自民党県議団は6月定例会において、新型コロナウイルス感染症に関する県の対策を検証する特別委員会の設置を提案し決まりました。

私たちは、これまで県職員が真摯に対応してきたことは理解していますが、指摘事項への対応や改善策など具体的な提起が見受けられず、一抹の不安を禁じ得ないことから、特別委の設置が必要と判断しました。

議会最終日の7月3日、18人の委員を決定し委員長に小島信昭県議(自民党県議団長)、副委員長に本木茂県議が選出されました。県の新型コロナウイルス感染症対策



の課題について整理・検証するとともに、今後に備え県議会としての対策を総合的に検討してまいります。



就任の挨拶をする本木茂県議

## 県議会6月定例会で 採択された意見書・決議

- 新型コロナウイルス感染症の第二波の到来に備えた万全の体制の整備を求める意見書
- 新型コロナウイルス感染症のワクチン・治療薬の早期開発と承認を求める意見書
- 世界保健機関(WHO)に対し、新型コロナウイルス感染症の初動対応の検証を早急に実施するよう要求すること等を求める意見書
- 北朝鮮による全ての拉致被害者等の即時一括帰国の実現を求める意見書
- 警察官の増員を求める意見書
- 災害対策基本法において感染症等の拡大を「災害」と位置付けることを求める意見書
- デジタル・ガバメントの着実な推進を求める意見書
- エッセンシャルワーカーに対し敬意と感謝の意を表する決議

### エッセンシャルワーカーに対し 敬意と感謝の意を表する決議

新型コロナウイルス感染症の拡大により、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発出され、我が国は、経験したことのない危機に直面している。緊急事態宣言は解除されたものの、第二波の到来など先行きの見えないことへの不安により、平和な日常生活は戻っていない。

このような未曾有の事態においても、感染リスクに立ち向かい、社会生活の維持に必要な機能を支えているエッセンシャルワーカー(生活必須職従事者)と呼ばれる人々がいる。医療の最前線で昼夜を問わず奮闘している医療従事者及びその関係者、保育や障害者・高齢者福祉、そして、廃棄物処理や物流関係など暮らしを支える人々である。これらエッセンシャルワーカーの献身により、県民の生命は守られるとともに生活が支えられている。

よって、本県議会は、県民の生命を守り、生活を支えるために日々奮闘する全てのエッセンシャルワーカーに、県民を代表して敬意と感謝の意を表するとともに、我々も県民の生命を守り、生活を支えるために全力で取り組むことを誓うものである。

以上、決議する。

令和2年7月3日  
埼玉県議会

## 自民党県議団はWeb会議を推進しています

自民党県議団では「Web会議推進委員会」を設け、団会議等にテレビ会議システムを導入するなど、議会内の感染拡大防止に取り組んでいます。

写真はテレビ会議システムを活用して行われた「Web会議推進委員会」の様子。



# 4月には臨時議会開催し事業者支援等を議決

県議会は4月30日に臨時議会を開催し、新型コロナウイルス感染症対策として、事業者支援や医療体制の強化を盛り込んだ補正予算511億781万の計上を議決しています。

医療面では、宿泊療養施設を約1千室確保するために約60億円、県衛生研究所のPCR検査機器を増設するた

めに約9億円、陽性患者の入院を受け入れている医療機関に対し患者1人あたり25万円の協力金などを支給するための約40億円が盛り込まれました。県はさらに、安心な県民生活を実現していくために、新型コロナウイルス感染拡大防止を徹底するためのガイドライン、「彩の国「新しい生活様式」安心宣言」の取り組みを進めています。

## 彩の国「新しい生活様式」安心宣言

～ 私たちは以下のすべてを遵守することを宣言します ～

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>1 三密を徹底的に回避します</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・密閉の換気</li> <li>・一定の数以上の入連制限<br/>(屋外でお待ちください)</li> <li>・受付や更衣室、喫煙所での密集防止</li> <li>・社会的距離の確保</li> </ul> <p><b>2 感染防止の対策を行います</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発熱などの症状がある方の制限</li> <li>・症状のある従業員の出勤制限</li> <li>・手洗いや手指の消毒の徹底、手の触れる場所の消毒</li> <li>・マスクの着用</li> <li>・共用する物品などの最小化</li> <li>・食水・暖湯のついたごみはビニール袋に入れて密閉</li> </ul> <p><b>3 安全のための設備にします</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入口等に消毒設備、体温計の設置</li> <li>・対面場所の確保</li> <li>・密閉の換気と消毒の徹底</li> <li>・共通タオルの禁止、ハンドドライヤーの使用中止</li> </ul> | <p><b>4 安心に向けた工夫をします</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前予約の最大限の活用</li> <li>・衣袋のこまめな洗濯</li> </ul> <p><b>5 行いません、行かせません</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗空間での激しい運動や大声</li> </ul> <p><b>6 極力制限します</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一度に休憩する人数の制限</li> <li>・対面での食事や会話の制限</li> </ul> <p><b>7 重症化リスクに配慮します</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や持病のある方への配慮<br/>(高齢者利用時間の設定など)</li> </ul> <p><b>8 新しい働き方に向け努力します</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅勤務やオンライン会議</li> <li>・ローテーション勤務、時差通勤</li> </ul> |
|--|---|

宣言日：令和 年 月 日

名 称：

新型コロナウイルス対策本部



「新しい生活様式」安心宣言

## さいたま市立病院 旧病棟を視察

4月23日、埼玉県において、さいたま市立病院の旧病棟を活用し、新型インフルエンザ等対策特別措置法第48条に基づく「臨時の医療施設」を、一日も早く設置することを申し入れるため、県議団により同病院の視察を行いました。

なお、当該医療施設の開設にあたっては、特に医療従事者の確保が課題となるため、県において県内各病院や医師会・看護協会等との調整を行うことや、事業の実施にあたっては、市立病院における様々な知見を有するさいたま市と綿密な調整を図り強力な連携体制を構築することを申し入れました。



## 自民党県議団として一早く対策強化を要望

# 対策本部を立ち上げ取り組んでいます

新型コロナウイルスの拡大を受け、私たち自民党県議団は2月13日に緊急要望書を大野知事に提出。これを受け、県は24時間対応の専用電話相談窓口「県民サポートセンター」を全国に先駆けて開設しました。

また4月7日には、政府による「緊急事態宣言」が発令されたことを受け、自民党県議団として「新型コロナウイルス感染症対策本部」を立ち上げ、随時、事業者や医療機関に対する支援策の強化などの要望・提言を重ねています。



写真はテレビ会議システムを導入して開催した新型コロナウイルス感染症対策本部会議の様子。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3つの「密」「密閉」「密集」「密接」を避けましょう!

本木しげるオフィシャルホームページ

<https://www.motoki-saitama-kengikai.jp>





### 県議会12月定例会報告

#### 一般会計補正予算【第11号】

# 時短協力金として約19億4,283万円

#### 一般会計補正予算【第10号】

# 債務負担行為及び繰越明許費

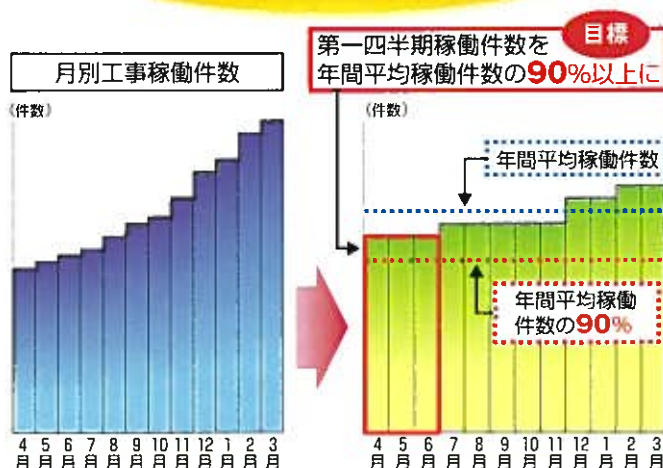
県議会12月定例会は11月30日から12月18日にかけて開催され、補正予算【第10号】【第11号】をはじめ県立4病院の地方独立行政法人化を進めるための条例等を議決しました。

補正予算【第11号】19億4,283万2千円は、新型コロナの感染拡大に伴う飲食店等（対象：さいたま市大宮区、川口市、越谷市）への営業時間短縮要請（第1期：12月4日～17日）に対して、全期間協力した店舗に協力金32万円を支給するためのものです。県はさらに時短期間の延長（第2期：12月18日～27日）と、全期間協力した店舗に協力金40万円を追加支給することを12月15日に発表しました。

なお補正予算【第11号】に関して、私たち自民県議団は『科学的根拠を生かした新型コロナウイルス感染症対策を求める決議』を提案し、付帯決議として議決しています。

補正予算【第10号】は、債務負担行為（限度額：48億5,934万円）及び繰越明許費（65億5,035万4千円）の設定です。債務負担行為の設定とは、来年度の頭に支出できるよう設定し、来年第1四半期の工事量を確保するためのものです。これによって、例えば年度末に道路工事が集中するといった状況を避けることができます。また、関係機関との調整に不測の日数を要した事業などについて、繰越明許費を設定することで適切な工期を確保することができます。

### 平準化のイメージ



その他、県立4病院（循環器・呼吸器病センター、がんセンター、小児医療センター、精神医療センター）の地方独立行政法人化を進めるための条例を制定しました。4病院の法人化によって、これまで以上に県民の生命と健康を支える医療機関となるよう、しっかり見ていきたいと思ひます。

埼玉県議会議員  
本木しげる  
総務県民生活委員  
自然再生・循環社会対策特別委員  
新型コロナウイルス感染症対策特別委員長  
議会改革検討会会長



# 新型コロナ



小島委員長(左)とともに大野埼玉県知事(中央)に提言書を渡す本木県議。

令和2年10月、埼玉県知事に対して月の残業時間が215時間にも及ぶ職員がいる狭山保健所職員の増員を求める件など9分野64項目について提言を行いました。12月に回答が示されましたので主なものを掲載いたします。

なお、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会は12月定例会を以て審査を打ち切る予定でしたが、感染拡大が収まらないことから2月定例会まで審査を継続することとなりました。

## 提言

## 対応状況や考え方

### I 総括的な事

- 新型コロナウイルス感染症対策については、特別委員会の審査を踏まえ、県民をどう守るかという視点に立った、対応マニュアルを策定すること。

対応マニュアル策定について検討を進めている。



### II 組織分野に関する事項

- これまでの新型コロナウイルス感染症対応の教訓を生かし、感染症や台風等の有事に備え、職員定数の見直しを図ること。
- インフルエンザの流行に備えた体制整備を行うこと。
- 職員の時間外労働の縮減のため、職員の増員を図るとともに、実効性のある働き方改革を進めること。特に、テレワークについては、職員の感染リスクを下げるためにも、実施率を着実に上げていくこと。

全庁的な応援体制により対応することを基本としつつ、状況に応じて組織の新設や必要な増員を行ってきた。今後も、未知の感染症や自然災害など県民の生命や財産に重大な影響を及ぼす事案等の対応について必要な増員を行うとともに、不断の行政改革に取り組み、行政需要の変化や職場実態に応じた定数管理を適切に行っていく。

季節性インフルエンザ流行期には、例年100万人を超える発熱患者が発生しており、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザを臨床的に鑑別することは困難である。このため、次のような対策を講じている。

- ・ 季節性インフルエンザのワクチン接種に関しては、65歳以上の高齢者等の接種費用を無料とし、早めの接種を促している。
  - ・ 発熱患者等が地域において適切に診療及び検査を受けられるようにするため、季節性インフルエンザと新型コロナウイルスに係る診療・検査を行う医療機関を「埼玉県指定診療・検査医療機関」として12月8日時点で1,114医療機関を指定した。
- 指定を受けた医療機関の情報をインターネット等で12月1日から公表している。

業務量に応じメリハリをつけた人員配置を行うとともに、デジタル技術を活用して効率化を図る行政プロセスの見直しに取り組んでいく。こうした見直しにより、業務の効率化や時間外勤務の削減を図り、職員が能力を最大限に発揮する働き方改革を進め、県民サービス向上につなげていく。

令和元年度から時間外勤務の上限時間が定められたことを受け、ノー残業デーの更なる徹底や時間外勤務が多い職員を個別に所属長に知らせるメールの送信、時間外勤務が多い部局へのヒアリングなどの取組を行っている。テレワーク（在宅勤務）については、職員同士の接触機会を減らすために積極的な活用を促しており、引き続き県民生活への影響を最小限にした上で推進していくよう、各所属に対して働きかけを行っていく。

### III 財政分野に関する事項

- 財政調整基金については、不測の緊急事態下においても迅速かつ万全の対策が行えるよう十分な基金残高の復元、確保策を計画的に講じること。

国庫支出金など特定財源の確保や地方財政措置がある有利な県債の活用等を行うとともに、これまで以上に事業の選択と集中を行うなど、歳入・歳出両面での努力を重ねて可能な限り基金残高の復元に努めていく。

### IV 情報発信等の分野に関する事項

- 県内の各市で設置している保健所も含め、各保健所で取りまとめられたそれぞれのデータを同じ規格で整理し、県民が分かりやすい形で発信すること。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大によ

現在、国において感染者情報公表基準について検討されているため、新たな基準が決定されたら、それを踏まえて各市と調整する。

人権尊重社会をめざす県民運動強調月間である10月に、新型コロナウイルス

# ウイルス感染症対策特別委員会 提言に対


提 言	対応状況や考え方
<p>る誤解や偏見に基づく差別的取扱いや言動がなくなるよう県民に寄り添った施策を進め、積極的に差別・偏見解消のための啓発に努めること。</p>	<p>感染症に関連する人権を重点テーマとしてポスター・リーフレット、新聞・ラジオなどによる啓発を集中的に実施。12月4日からの県民運動強調週間に実施するオンラインによるイベント「ヒューマンスクウェア」にもポスター・リーフレットをアップして啓発。また、市町村や企業・団体等が主催する研修会に啓発講師を派遣するなど、継続的な啓発に取り組む。</p>
<h2>V 医療分野に関する事項</h2>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルス感染症に係る時間限的な「専用医療施設」を設置するに当たっては、山積する課題への対応策を詳細に計画化し、設置する医療機関の負担が増大しないよう努めること。</li> <li>● 県立病院での受入れ拡大を含め病床の更なる確保に万全を期すこと。</li> <li>● 保健所における更なる負担軽減策を進めるとともに、保健師などの専門職を増員し、保健所体制の強化を図ること。特に、月の残業時間が215時間に及ぶ職員がいる狭山保健所は職員を増やし、支所をつくること。</li> <li>● 検査体制を強化するため、全都市医師会との集合契約及びあらゆる医療機関で唾液等による検査ができる体制を作ること。</li> <li>● 感染のピーク時にあっても、各電話相談の応答率が下がらぬよう、現状を定量的に把握し、電話回線や人員の増強を図るなど、必ずつながるように取り組むこと。</li> </ul>	<p>医療機関が敷地内または隣接地に仮設の専用医療施設を整備する場合の病床整備計画を10月15日から10月31日まで公募した。その結果、11月18日に、新規分として176床を採択し、フェーズⅣにおける必要病床数を超える1,408床を確保する見込みを立てた。また、その施設整備費を財政支援するとともに、専用医療施設をはじめとする重点医療機関について、空床確保等の補助金の単価を1日当たり71,000円等に増額し、運営を支援した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症患者の受入れ病床については、11月30日に入院患者の増加に対応するため病床確保計画のピーク期であるフェーズⅣに移行し、県立病院での受入れ病床の拡大を含め、現在1,211床を即応病床として確保している。フェーズⅣの必要病床数である1,400床に対しては、仮設の専用医療施設や院内の病床が順次確保されることにより1,408床となる見込みである。</p> <p>引き続き業務委託の活用や派遣看護師の配置の拡充、県庁全体からの職員の応援体制の構築などにより保健所の負担を軽減し、積極的疫学調査等の専門的業務に集中できる環境の確保に努めるとともに、保健師を増員し、保健所の体制強化を図る。狭山保健所についても保健師の増員を図るとともに、保健所政令市の制度や新型コロナウイルス感染症の発生を踏まえた保健医療を取り巻く環境変化について所沢市に丁寧に説明し、保健所設置について検討を依頼した。</p> <p>PCR検査については、鼻咽頭ぬぐい液方式のみならず、医師の曝露のリスクの低い鼻腔ぬぐい液方式や唾液による検査をガイドラインなどにより推奨している。</p> <p>日々の電話件数の把握に努め、応答率の低下を招かないよう人員の増加等、柔軟な対応を行うように取り組んでいる。</p>
<h2>VI 福祉分野に関する事項</h2>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 福祉施設間の互助ネットワークの構築及びケアラー支援等に係る事業については、緊急事態下においても即応的な支援が行えるよう関係団体との連携・協力体制を構築すること。</li> <li>● コロナ禍における児童虐待の増加や乳幼児を抱える家庭の孤立などの対策の強化に努めること。また、適切な対策が取れるよう児童相談所と市町村の連携を密にすること。</li> </ul>	<p>互助ネットワークについては、事業者団体と連携し、緊急事態下には即応的な支援が行えるよう協力体制を構築した。ケアラー支援については、ケアラーが新型コロナウイルスに感染して入院等した場合に、要介護者が安心して生活できる場所を確保するための受入施設を開設した。事業者団体の協力のもと、施設の職員を応援職員として登録し、応援職員の派遣による要介護者のケアを行う体制を構築した。</p> <p>国の「子どもの見守り強化アクションプラン」(令和2年4月)に基づき、支援対象児童等について、児童相談所と市町村で連携し対応している。今般、国の「子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について(第16次報告)」が公表され、虐待とDVとの関係が指摘されたところである。そのため、健康長寿課、男女共同参画課とさらに連携を密にするとともに、改めて、児童相談所、保健所、婦人相談センター及び市町村あてに、児童福祉、母子保健、DVなどの関係機関が連携し、支援対象児童等に対応することについて周知徹底を図った。</p>
<h2>VII 教育分野に関する事項</h2>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルス感染症による学びの遅れを取り戻すため、教育ビッグデータを活用すること。</li> </ul>	<p>小中学校における臨時休業中のICT活用状況の調査・分析を行い、その結果を踏まえて、全ての教員のICT活用能力の向上等について組織的に取り組むよう働き掛けを行った。臨時休業による学習の定着度や学力の伸びへの影響等について、県学力・学習状況調査と8月に実施した「学校再開後の学習への取組状況等の調査」等の結果を、研究機関と連携し、クロス分析する。</p>



# る取り組み

提 言	対応状況や考え方
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校教育環境のICT化、オンライン学習の推進に向けては、環境整備専門の人材配置に市町村格差が生じないようにワーキンググループを組織するなど、ICT教育の質や公平性の確保に努めること。</li> <li>● 中高生のスポーツや文化活動における大会の実施に向けて、PCR検査の補助等の積極的な支援を行うこと。特に3年生が大会に参加できるよう配慮すること。</li> </ul>	<p>学校教育環境のICT化やオンライン学習等の推進に向けて、市町村と県による「埼玉県市町村立学校ICT活用推進ワーキンググループ」の開催に向けた調整を進めている。</p> <p>教育局内にICT教育推進のための専担組織を設置するための検討を進めている。</p> <p>部活動における感染対策の徹底を示した通知を作成・周知し、顧問が感染対策を講じた指導をすることで、子供たちが感染予防を意識した行動ができるよう努めている。</p> <p>また、県として大会主催者に対する指導・助言を行うとともに、大会主催者が作成するガイドラインの監修を行い、大会が適切に開催できるよう支援している。</p> <p>受験などの準備に移行した3年生を対象に県大会の開催を計画することは厳しい状況にあるが、県が賞状の様式を市町村や主催団体に提供し、学校で表彰できるようにする等の支援を行う。</p>

## VII 経済分野に関する事項

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「強い経済の構築に向けた埼玉県戦略会議」の取組については、本県の産業構造の実情に合致した検討内容となるよう工夫をするとともに、これまで以上に景気浮揚に関する視点を取り入れて政策を実行すること。</li> <li>● 経済低迷期や不測の事態における企業、個人事業主、各種法人及び団体への支援については、迅速かつ効果的な支援や補助制度となるよう制度設計に万全を期すこと。</li> <li>● 国の制度から県の制度まで幅広く扱った、中小企業向けのワンストップ相談会を実施すること。</li> <li>● 狭山茶の特性に合った適切な支援を行うこと。</li> </ul>	<p>本県の産業構造として、中小・小規模事業者が多数を占めていることに鑑み、地域の商工会等の意見を反映できるよう戦略会議構成員を増やし体制の強化を図った。また、提言を踏まえ第4回戦略会議では、第3回戦略会議で決定した社会実装する取組の進捗管理を行うとともに、本県の産業構造の実情や景気浮揚を踏まえた取組内容となるよう意見交換を行い、着実な政策実行に向け検討を進めている。</p> <p>今般の緊急事態宣言のような事態が生じた際の補助制度の設計に当たっては、対象者の範囲、緊急性、効果、財源などを見極め、既成概念に捉われないことと、県民満足度の高い制度となるよう努める。</p>  <p>国・県の支援策は多岐にわたり、幅広くワンストップで対応する相談会の開催は困難である。県のホームページでは、国や市町村の支援策も含め紹介している。また、県の家賃支援金、資金繰り等の経営相談及び国の支援制度などの総合的な相談窓口としてコールセンターを設置している。</p> <p>さらに、国の設置した経営相談所である埼玉県よろず支援拠点では、県内18か所に出張相談所、サテライト相談所を設置しており、より身近な場所で相談を受けている。県では、引き続き、よろず支援拠点と連携し、中小企業の相談に対応していく。</p> <p>狭山茶の特徴である「自園・自製・自販」により製造される、高品質なお茶を販売する茶業者を紹介する「お取り寄せ埼玉県農産物応援サイト」を開設し、併せて割引販売キャンペーンの実施やECサイトの導入等、販売支援を行っている。</p> <p>今後は、コロナ禍においても新たな狭山茶の需要を創出するため、「Instagram」を活用した、レシピコンテストの開催や、量販店のネットスーパーや主要駅での狭山茶試供品配布を計画している。</p> <p>また、国の補助事業である「高収益作物次期作支援交付金」や「茶販売促進緊急対策事業等」等について、茶業者の利用が図られるよう支援している。</p>
---	--

## IX 雇用分野に関する事項

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 民間企業が安心して雇用を維持できるよう、経営者に対する支援を拡充すること。</li> </ul>	<p>県内企業を対象に雇用調整助成金等に係る緊急相談会を開催している。相談会は、令和2年3月から計25回（令和2年11月30日現在）開催しており、累計423社の企業からの相談に対応した。今後も、12月22日に相談会を開催予定であり、引き続き企業の雇用維持が図られるよう支援していく。</p> <p>また、コロナ禍で生じた人材余剰企業から人材不足企業へ一時的に出向させるなど企業間の人材シェアマッチング支援を令和2年7月から関東経済産業局や産業雇用安定センターなどと連携して取り組んでいる。引き続き企業のニーズを踏まえながら関係機関と連携して支援していく。</p>
---	---

## 盗撮対策を強化へ 県迷惑行為防止条例を一部改正

自民党議員団「迷惑行為防止条例の一部改正検討プロジェクトチーム」で検討を進めていました「埼玉県迷惑行為防止条例」の一部改正について、12月定例会において提案を行い、議決・成立しました。

近年のスマートフォンの普及によって、公共の場や乗り物の中とは断定できない場所での盗撮事件が増えており、これまで「公共の場や乗り物内」に限定していた規



制場所について、学校や事務所、住宅等も加えたほか、カメラを向けたり設置する行為も規制の対象と定めました。なお、施行は令和3年4月1日からです。

## 地元の診療所・病院で診療可能に 新型コロナ&インフル診療医療機関を公表



県は、発熱患者が迷わずに地域の医療機関等で受診することができるよう、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの両方の診療・検査を行うことができる医療機関を「埼玉県指定 診療・検査医療機関」として指定、公表しています。指定 診療・検査医療機関は、「埼玉県指定 診療・検査医療機関検索システム（次のアドレス）」から検索してください。

<https://flu-search.pref.saitama.lg.jp/>

■ 受診先の確認・受診を迷う場合（かかりつけ医がない方は）

### 埼玉県受診・相談センター

TEL：048-762-8026 FAX：048-816-5801  
受付時間：午前9時～午後5時30分 月～土（祝日含む）

- 他の症状の患者と接触しないように発熱患者専用の受付時間を設定しています。必ず事前に電話連絡してから受診してください。  
※事前連絡をしないで医療機関に行っても、受診できないことがあります。
- 検査は、医師が必要と認めた場合に限り行われ、漠然とした不安がある、陰性証明がほしいという理由での検査はできません。
- 診療のみを行い、検査は連携する医療機関等へ引継ぐものも含んでいます。
- 受診の際はマスクを着用し、医療機関の指示に従ってください。
- 公共交通機関の利用を控えて受診してください。

■ 受診先の確認・一般的な質問（夜間や休日・緊急時には）

### 県民サポートセンター

TEL：0570-783-770 FAX：048-830-4808  
受付時間：24時間年中無休

## 薬局従事者への新型コロナウイルス感染症 対応従事者慰労金の支給を知事に要望

薬局は、地域住民の保健・医療に貢献しており、新型コロナウイルス感染症が蔓延している中においても、医療機関が開院している時間帯は店舗を開き、患者からの処方箋を受け入れて調剤をするとともに、一般用医薬品を始め消毒薬やマスクの販売を行い医療提供施設としての役割を果たしています。このような対応をしている中において、新型コロナウイルスに感染している患者と接触する可能性が高いことから、薬局従事者全員がマスクを着用し、投薬口や薬剤師の手指を適切に消毒するなど感染防止に十分配慮しています。

このようなことから、薬局においても感染症患者に接

するリスクがあることを認め、病院、診療所等に勤務し、患者と接する医療従事者や職員と同様に、県内薬局で働く薬剤師を始めとした従事者全員を対象に慰労金を支給するよう知事に要望しました。



大野埼玉県知事(中央)に要望書を手渡す本木県議(右から二人目)。

# 一般質問に「一問一答式」を導入

## 議会改革検討会

令和2年10月14日、14人の議員で構成された議会改革検討会（会長＝本木茂議員）が設置され、「一般質問における一問一答式の導入」「オンライン委員会」「ペーパーレス議会システムの導入」の3分野の議会改革の基本方針について検討がなされました。

全5回の協議を通じて決定した基本方針を12月4日、議会運営委員長に報告しました。

各分野における基本方針の主な点は次のとおりです。

### 1) 一般質問における一問一答式の導入について

- 質問する議員が一括質問・一括答弁式または一問一答式を自由に選択することで、より一層活発な質疑質問となるよう制度設計を行う。
- 現在の議席番号7～9の席を、一問一答式を選択した議員の専用席（質問者席）とし、この場から質疑・質問を行う。
- 議員の質問時間は、再質問等を含め35分以内とする。
- 一問につき再質問、再々質問まで認めることとする。
- 関連質問は認めないこととする。

### 2) オンライン委員会について

- 新型コロナウイルス感染症等重大な感染症のまん延防止措置の観点から又は大規模な災害等の発生により、委員会への参集が困難な実情がある場合に実施する。
- 各委員会室の通信環境の安定化、災害時等においても実施できる環境の整備等を行い、有事の際に滞り



小林県議(左)とともに須賀委員長(右)に報告書を渡す本木県議。

なく開催できるようにする。

- 実施体制の整備後、模擬オンライン委員会を開催する。

### 3) ペーパーレス議会システムの導入について

- 議会資料をペーパーレス化し、効率的に利用できるシステムを導入することで、情報共有化、検索性の向上、省スペース化、経費削減、作業の効率化、環境負担の軽減等の効果が期待できるため、議会のペーパーレス化を推進し、議員活動の活性化及び議員・職員の業務効率化等を実現します。
- 原則として全ての議会関係資料（議案書、本会議や委員会配布する資料等）を電子データ化し、システムにアップロードした上で、本会議や委員会に情報機器を持ち込み閲覧する。
- 令和3年9月～令和4年3月を試行期間（紙資料との併用、課題の抽出）とし、令和4年4月からの本格実施を目指します。

## 川越陸上競技場の施設改善支援を要望

### 自民・ちふれASエルフェン埼玉を応援する会

「自民党ちふれASエルフェン埼玉を応援する会」は11月10日、日本女子サッカーリーグ「WEリーグ」に参入するちふれASエルフェン埼玉のホームスタジアムの一つとして、川越運動公園陸上競技場の施設改善を県が支援するよう求める要望を行いました。同チームは1985年に狭山市で「狭山市地域少年団アゼリアFC」として活動を開始し、飯能市、日高市がホームタウンとして加わってから今日に至るまで、県西部地域を拠点としてきました。

同チームは本年秋発足のWEリーグ参入が決定しま



写真は左から、内沼県議(飯能)、本木県議(狭山)、橋本副知事、小谷野県議(日高)、中野県議(川越)。

したが、県西部地区にリーグの施設基準を満たす競技場がなく、県営熊谷スポーツ文化公園陸上競技場をホームスタジアムとして設定しました。要望では、県西部ファンが観戦しやすく、これまで試合が多く行われている川越市の川越運動公園陸上競技場の施設改善を県が支援するよう求めました。







## 県議会2月定例会報告

令和3年度  
一般会計 **2兆1,393億6,522万円**

## 安心安全を強化し持続可能な社会を目指す

県議会2月定例会は、県政史上最大となる当初予算(一般会計：2兆1,198億4,300万円)および補正予算(一般会計：195億2,222万円)等を議決し、3月26日に閉会しました。

新型コロナウイルス感染症対策としては、ワクチン接種体制の整備や病床確保のための医療機関への補助(約1,000億3,542万円)をはじめ、介護・障害者福祉サービス等への支援や飲食店等への支援などが盛り込まれています。

## 約444億円の令和2年度2月補正予算も計上

2月定例会では、13か月予算により切れ目なく事業を継続させるため、444億2,360万6千円の令和2年度2月補正予算を、これは急務を要するとして3月2日に議決しました。これにより、インフラ整備が年度で途切れず実施され、特に流域治水対策事業については3年度予算と補正予算合わせて280億3,950万円となり、調節池の整備や河道拡張などの治水対策が加速化して進められることになりました。

一方、歳入は県税収入が減少する厳しい状況となっておりますが、国庫支出金をはじめ臨時財政対策債や基金の切り崩し等で補うかたちとなっています。

埼玉県議会議員

### 本木しげる

総務県民生活委員

地方再生・行財政改革特別委員

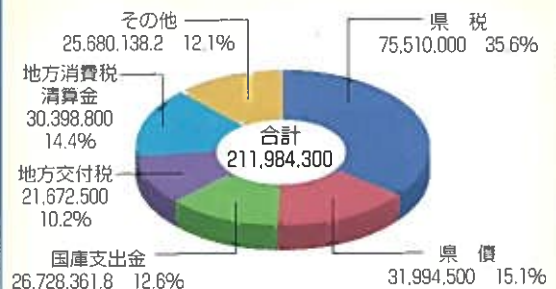
新型コロナウイルス感染症対策

特別副委員長



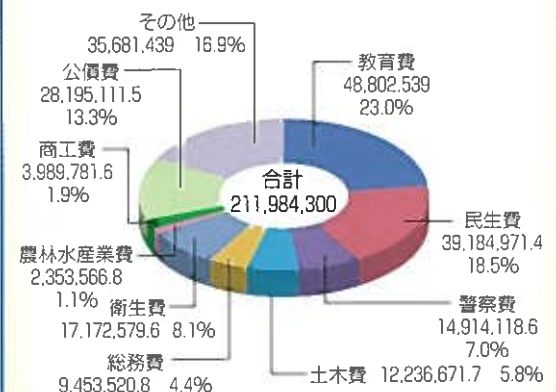
### 令和3年度埼玉県当初予算(一般会計)

#### ●歳入(単位=万円)



項目	金額(万円)	割合
地方譲与税	8,758,700	4.1%
地方特例交付金	574,800	0.3%
交通安全対策特別交付金	145,600	0.1%
分担金及び負担金	278,832.5	0.1%
使用料及び手数料	2,648,444.6	1.3%
財産収入	818,475.2	0.4%
寄附金	16,311.9	0.0%
繰入金	8,075,650.8	3.8%
繰越金	50,000	0.0%
諸収入	4,313,323.2	2.0%
小計	25,680,138.2	12.1%

#### ●歳出(単位=万円)



項目	金額(万円)	割合
議会費	321,130.3	0.2%
労働費	579,389.1	0.3%
災害復旧費	531,302.8	0.3%
予備費	100,000	0.0%
諸支出金	34,149,616.8	16.1%
小計	35,681,439	16.9%

# 令和3年度当初予算 狭山市内の県土整備事業箇所

(予算1,000万円以上の事業)



① 中新田入間川線(上奥富地内)



⑤ 川越入間線(堀兼地内)



② 日高狭山線(根岸地内)



③ 堀兼根岸線(柏原小人口交差点)



④ 川越入間線(入曾交差点)



⑥ 堀兼根岸線(根岸地内)



⑦ 所沢狭山線(富士見地内)



⑧ 堀兼根岸線(狭山大橋)



⑨ 所沢堀兼狭山線(堀兼地内)



⑩ 川越所沢線(上赤坂地内)



⑪ 日高狭山線(根岸地内)



⑫ ⑭ 笠幡狭山線(宮沢橋付近)



⑬ 川越入間線(堀兼地内)



⑮ 上ノ原団地(上広瀬地内)



⑯ 不老川(石橋付近)



⑰ 不老川(草刈橋上流)



⑱ 入間川(昭代橋上流)



事業名	路線名等	事業の概要
① 社会資本整備総合交付金(改築)事業費	中新田入間川線	L=900m, W=6.0(9.0)m
② 道路環境整備費	日高狭山線	側溝新設 L=100m
③ 交差点整備費	堀兼根岸線	交差点改良
④ 交差点整備費	川越入間線	交差点改良 W=15m L=90m
⑤ 舗装道整備費	川越入間線(北入曾)	舗装修繕 W=6.5m, L=270m
⑥ 舗装道整備費	堀兼根岸線	舗装修繕 W=8m, L=360m
⑦ 舗装道整備費	所沢狭山線	舗装修繕 W=9m, L=350m
⑧ 橋りょう修繕費	堀兼根岸線(狭山大橋)	橋脚補強、落橋防止
⑨ 舗装道整備費	所沢堀兼狭山線	舗装修繕 W=6.3m, L=480m

事業名	路線名等	事業の概要
⑩ 舗装道整備費	川越所沢線	舗装修繕 W=6.5m, L=480m
⑪ 舗装道整備費	日高狭山線	舗装修繕 W=6.5m, L=520m
⑫ 舗装道整備費	笠幡狭山線	舗装修繕 W=6.4m, L=570m
⑬ 舗装道整備費	川越入間線(堀兼)	舗装修繕 W=6m, L=670m
⑭ 社会資本整備総合交付金(交通安全)事業費	笠幡狭山線	歩道整備 W=2.5m, L=320m
⑮ 砂防維持修繕費	上ノ原団地	法枠修繕工、測量設計
⑯ 河川改修費	不老川	測量設計、用地買収、借地
⑰ 社会資本整備総合交付金(河川)事業費	不老川	護岸工、用地買収
⑱ 川の再生推進費	入間川	測計・設計1式

## 新型コロナウイルス感染症対策のさらなる強化

- 検査体制・医療提供体制を強化・確保……………997億37.1万円
- ワクチン接種体制の整備(専門相談窓口の設置等)……………3億3,504万円
- 新型コロナウイルス感染拡大防止対策
  - 介護・障害者福祉サービス等への支援……………18億9,240.3万円
  - 飲食店等への支援(飲食店等が行う感染予防対策の費用を補助)……………4億2,000万円
  - 県立学校における感染防止(必要な教材器具等を整備)……………1億9,896.3万円
  - 警察活動における感染防止……………1億2,862.9万円

## 災害対策の重点取り組みと強化

- 流域治水対策を加速化……………112億75万円  
(2月補正予算との合計=280億3,950万円)
- 整備水準を超える洪水等への対応……………8億4,604.7万円  
(2月補正予算との合計=9億2,204.7万円)
- 災害に備えた医療体制を強化……………5,469.2万円
- 家畜伝染病の防疫体制を強化……………9,034.5万円

## 地域経済を支え活性化を目指す

- 県内経済を支える中小企業を支援……………201億8,782.6万円
- 県内企業の海外ビジネス展開を支援……………1億419.5万円
- 農林業の生産基盤・販売力強化
  - 生産基盤の強化(高収益事業を実現するほ場整備実証事業)……………4,000万円
  - 農業の担い手育成(未来型農業教育環境整備事業)……………1,323.5万円
  - 持続可能な農業の確立(農業法人経営継続計画の策定支援、県産米競争力強化プロジェクトの推進等)……………3,934.1万円

## デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

- 警察業務を効率化し警察力を強化……………2億9,473.2万円
- 行政のデジタルトランスフォーメーションを推進……………8億7,012万円
- 業務効率化のためのデジタル基盤を整備……………12億5,609万円
- i-Constructionを推進……………4億5,918万円
- 中小企業・小規模事業者のデジタル化を支援……………2億8,795.2万円

## 既存資源を活用した観光基盤の構築

- 渋沢栄一翁を軸とした観光振興……………2,365.8万円
- 民間事業者等と連携した広域観光を促進……………2,369.2万円
- スポーツ等を活用した観光振興……………1,000万円

## 活力を高める社会基盤の整備

- 直轄事業と連携した骨太の道づくり……………43億5,287.1万円
- ミッシングリンクを解消し道路網の多重化を構築……………40億9,147.7万円  
(2月補正予算との合計=51億9,918.5万円)
- 産業拠点を支えるインフラ整備……………22億8,792.6万円  
(2月補正予算との合計=34億6,792.6万円)

## 未来を拓く次世代を育成

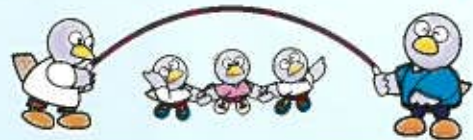
- 教育の情報化を推進……………6億4,232.2万円
- 自立と社会参加を目指す特別支援学校を整備……………29億5,766.7万円
- 県立高校トイレ改修加速化事業……………31億828.1万円

## みどり育む持続可能な未来へ

- Next川の再生を推進……………11億1,507.7万円
- 農業用水の水辺周辺を活用……………5億879.3万円
- プラスチックの循環利用や食品ロス削減の取り組みを推進……………1,397.6万円

## 暮らしを守る安心安全への取り組み

- ケアラーやヤングケアラーへの支援……………1億8,817万円
- 児童虐待防止対策を強化……………9億5,508.2万円
- 生活困窮者や生活保護受給者等に対する支援……………4億4,257.4万円



## 副反応等の専門相談窓口

新型コロナウイルスのワクチン接種は医療従事者から始まり、4月からは高齢者(65歳以上)、その後基礎疾患を有する方や高齢者施設等の従事者、その他の方々へと順次行われる予定です。(地元の市町村から接種券が配布され、費用は国が負担するため無料です。)

県は副反応等に係る専門相談窓口を開設しました。専門的な知識を有する看護師や医師などが24時間体制で相談に応じます。今後も県民の皆さまが安心して接種できる体制を整えてまいります。

～専門相談窓口～

0570-033-226(ナビダイヤル)

※土日祝含む24時間対応

※接種券に関することや接種の方法等については、地元の市町村の相談窓口にお問い合わせください。

## 全国初、エスカレーター安全条例を可決!

私たち自民党県議団が2月定例会で提案しました「埼玉県エスカレーターの安全な利用の促進に関する条例」が可決・成立しました。施行は周知期間を設け令和3年10月1日としました。

条例は、県民にエスカレーター利用時は立ち止まって乗ることを努力義務とし、違反者に対する罰則は規定しませんでした。また、エスカレーターを管理する事業者には周知徹底を、県にも啓発の推進などを求めています。

エスカレーターを歩くことは重大な事故につながりかねません。条例化で状況を少しずつ改善していきたいと考えています。



# コロナ支援対策状況 埼玉県

埼玉県議会議員 諸井真英(もろいまさひで)が、  
県政を身近にわかりやすくお伝えする県政レポート

## 新型コロナウイルス関連 特別版 2020 Apr

発行 埼玉県議会 自由民主党議員団  
諸井真英事務所  
〒348-0053 羽生市南7-18-10  
TEL 048-561-9666 / FAX 048-561-9670

たくさんご相談、お問い合わせをいただいておりますので、自分なりに整理してみました。思い当たるものがございましたら、ぜひ記載の問い合わせ先に相談なさってください。

### 生活の中で発熱等の場合

- ・発熱時→出勤しない、させない。
- ・発熱が続いて心配→県民サポートセンター 0570-783-770(24時間)  
電話での相談が難しい方はファクスで  
埼玉県保健医療政策課 ファクス番号:048-830-4808  
加須保健所 ファクス番号:0480-62-2936
- ・感染疑い事例の場合→帰国者・接触者相談センター(加須保健所)
- ・診療(検査)が必要な場合→帰国者・接触者外来(医療機関・非公開)

※重症化の恐れが高い方(CTやX線の所見、妊婦、高齢者、透析中の方など)→保健所から検査  
※発熱4日以上や悪化する咳や倦怠感など→民間期間検査から検査  
※症状がなく感染不安からの検査希望は「検査の対象外」となります



埼玉県  
LINEコロナ  
情報&相談

収入が激減している

していない

## うつさない、うつらない生活 & テイクアウト活用など応援生活!

事業継続に困っている事業者さんや収入の大幅減少により生活に困窮している市民の方からの相談  
羽生市役所 商工課  
048-560-3111

している

雇われている方  
(いた方)

色の分類

給付

支払猶予

借入

個人事業主の方

法人経営の方

### 一人10万円の支給

国民一人あたり10万円を支給

窓口 総務省コールセンター  
☎03-5638-5855

### 休業手当

賃金の6割以上  
勤め先から休業を指示された人(パートも含む)

窓口 勤め先  
注 勤め先が雇用調整助成金を活用してくれた場合

### 傷病手当

感染して4日以上自宅待機で  
稼働期間の標準日額の2/3 稼働を支給

窓口  
加入されている健康保険組合など

### 総合支援金

単身15万円以内、2人以上20万円以内  
無担保無保証無利子、  
返済1年以内据置で10年以内で返済

窓口 羽生市社会福祉課  
☎048-561-1121(代表)

### 県営住宅への暫定入居

解雇や雇止め等により退去を余儀なく  
された方(通常の半額の家賃、敷金無)  
1万数千円の家賃と光熱費等 原則半年間  
窓口 埼玉県住宅課  
☎048-830-5564(午前9時~午後5時)

### ネットカフェ 宿泊者の退避施設

上尾県立スポーツ総合センターで宿泊  
可能。県内のネットカフェに滞在している方  
窓口 緊急事態措置相談センター  
☎048-830-8141(午前9時~午後6時)

### 失業保険

雇用保険加入期間が一定期間あった方  
窓口 羽生市ふるさとワーク  
☎048-560-3001

### 未払い賃金立替払い

倒産解雇された場合。未払金の8割  
上限は年齢により88万円~296万円  
窓口 行田労働基準監督署  
☎048-556-4195

### 住宅確保給付金

収入減少で家賃支払いが困難な方  
賃貸家賃額を3ヶ月(最長9ヶ月)  
窓口 羽生市社会福祉課  
☎048-561-1121(代表)

### 市税・国保税の納税猶予

条件あり。原則一年以内、最長2年  
窓口 羽生市税務課  
☎048-561-1121(代表)

### 公共料金等支払猶予

緊急小口融資を受けた方  
窓口 ご契約の電力・ガス会社等

命を守る医療対策と所得減少対策。これらの制度で完全ではありません。未曾有の事態の中、現時点で利用可能なものをまとめました。これからも状況に応じてさらなる対策を提言実現していきます。

埼玉県議会議員

諸井真英



※国の補正予算の成立後に実施されるものもあります。

※また、新たな制度が加わってくる場合もあります。

※どんな支援があるのか見逃すことを防ぐため、一つの事業に1ページ以上ある資料を簡略化しましたので、誤解を招く表現、正確でないこともあるかもしれません。ご容赦いただければ幸いです。(4月21日現在)

個人事業主の方

特別定額給付(一人10万円)

窓口 総務省コールセンター  
☎03-5638-5855

埼玉県中小企業者支援金

4/8~5/6 で7割以上休業した事業者  
20万(30万)円支給(条件変更の可能性あり)

窓口 埼玉県支援金相談窓口  
☎048-830-8291

持続化給付金

前年同月比50%以下  
100万円上限(国で制度調整中)

窓口 中小企業庁相談窓口  
☎0570-783183

市税・国保税の納税猶予

条件あり。原則一年以内、最長2年

窓口 羽生市税務課  
☎048-561-1121(代表)

持続化給付金

前年同月比50%以下  
200万円上限(国で制度調整中)

窓口 中小企業庁相談窓口  
☎0570-783183

埼玉県中小企業者支援金

4/8~5/6 で7割以上休業した事業者  
20万(30万)円支給(条件変更の可能性あり)

窓口 埼玉県支援金相談窓口  
☎048-830-8291

固定資産税の減免

建物&設備 来年度分  
30%以上減で半額免除、50%以上で全額免除

窓口 羽生市税務課  
☎048-561-1121(代表)

手形・小切手の猶予

窓口 お取引の金融機関

小学校休校等対応助成金

休校対応で有給を使った従業員のいる  
事業主  
払った賃金を助成(上限8,330円)

窓口 学校等休業助成金  
支援金受付センター  
☎0120-60-3999

雇用調整助成金

雇用の維持を図るため休業に要した  
手当を助成(パートも含む)  
支払額の4/5~9/10を助成

窓口 羽生市ふるさとハローワーク  
☎048-560-3001

固定資産税の減免

建物&設備 来年度分  
30%以上減で半額免除、50%以上で全額免除

窓口 羽生市税務課  
☎048-561-1121(代表)

小学校休校等対応助成金

休校対応で有給を使った従業員のいる  
事業主。払った賃金を助成(上限8,330円)

窓口 学校等休業助成金  
支援金受付センター  
☎0120-60-3999

欠損金の繰戻し還付

前年度黒字で今年度赤字の場合、  
前年度に納付した法人税の一部還付

窓口 行田税務署  
☎048-556-2121(代表)

小学校休校等対応支援金

休校対応で仕事ができなくなった事  
業主本人 4,100円/日

窓口 学校等休業助成金  
支援金受付センター  
☎0120-60-3999

国税の納税猶予

前年同月比20%以上減少  
一年以内の納税猶予

窓口 行田税務署  
☎048-556-2121(代表)

公共料金等支払猶予

総合支援金を受けた方

窓口 ご契約の電力・ガス会社等

雇用調整助成金

雇用の維持を図るため休業に要した  
手当を助成  
支払額の4/5~9/10を助成

窓口 羽生市ふるさとハローワーク  
☎048-560-3001

厚生年金保険料の猶予等

前年同月比20%以上減少、一年以内

窓口 熊谷年金事務所  
☎048-522-5012

緊急小口融資

10万円以内、学校休業関係10万円以内  
無担保無保証無利子  
返済1年以内据置で2年以内で返済

窓口 羽生市社会福祉協議会  
☎048-561-1121(市役所代表)

手形・小切手の猶予

窓口 お取引の金融機関

新型コロナウイルス対策マル経融資

(金利引き下げ) 前年比5%以上減  
無担保無保証。金利12%(3年間はそこから  
09%) 据置3年、返済7年  
窓口 中小企業金融給付金相談 ☎0570-783183  
羽生市商工会 ☎048-561-2134

特例緊急経営安定貸付

前年比5%以上減 2,000万まで 無担保無  
保証無利子据置1年返済4年~6年  
窓口 中小企業基盤整備機構共済相談室  
☎050-5541-7171 平日 9:00~18:00

政策金融公庫等の既往債務の借換

既存の特別貸付や危機対応融資に係る  
債務を対象とした借換を可能にして  
実質無利子化の対象に  
窓口 中小企業金融・給付金相談窓口  
☎0570-783183 平日・休日9時~17時

新型コロナウイルス感染症特別貸付

前年比5%以上減の飲食、旅館業等  
無担保 基準金利から-0.9%  
返済据置5年以内 15~20年返済

衛生環境激変対策特別貸付

前年比10%以上減の飲食、旅館業等  
組合せて無利子化も据置2年以内、返済7年以内  
窓口 日本政策金融公庫  
事業資金相談ダイヤル:0120-154-505

法人経営の方

色の分類

給付

支払猶予

借入

各種融資制度  
(一部抜粋)  
事業主・法人共通

埼玉県 窓口 埼玉県制度融資担当 ☎048-830-3801

経営安定資金 前年比15%もしくは20%以上減少  
利子0.5%,保証料0.8% 据置3年以内で10年以内返済

経営安定資金(特定業種) 前年比5%以上減少  
利子0.6%,保証料0.68% 据置3年以内で10年以内返済

経営あんしん資金 前年比減少  
利子0.8%,保証料0.45~1.64% 据置3年以内で10年以内返済  
申請は 羽生市商工会 ☎048-561-2134

民間

セーフティーネット4号 前年同期比20%以上減  
保証料と金利ゼロ 借入債務の100%保証

セーフティーネット5号 前年同期比5%以上減  
保証料と金利ゼロも有り 借入債務の80%保証

窓口 取引のある金融機関

又は 埼玉県信用保証協会熊谷支店 048-521-5221